

## 悔い改めの勧め

ヨエル書2章

今からでも、あなたがたは心をつくし、断食と嘆きと、悲しみとをもつてわたしに帰れ。あなたがたは衣服ではなく、心を裂け。(12、13)

前の章で、切迫している国家の滅亡に対して警告を与えたヨエルでしたが、それは時間の問題であつて、迫り来る敵の攻撃から逃れる道はほとんどないように思われました。

けれどもヨエルは、主の言葉に唯一の希望を見出しました。それは民が自分たちの罪を素直に認めて、主のもとに立ち帰ることでした。悔い改めこそ、近づく破滅から逃れる唯一の道だつたのです。主は民に語られました。「今からでも、あなたがたは心をつくし、断食と嘆きと、悲しみとをもつてわたしに帰れ」。もう手遅れだと諦めてしまふような者たちに、「今からでも」と主は告げられました。悔い改めることにおいては遅すぎることはありません。気がついたその時、主のもとに立ち帰るべきなのです。しかも主は「あなたがたは衣服ではなく、心を裂け」と命じられました。形ばかりで内実の伴わない悔い改めではなく、心の底からの真実な悔い改めを求められました。ヨエルは民に向かつて勧めました。「あなたがたの神、主に帰れ。主は恵みあり、あわれみあり、怒ることがおそく、いつくしみが豊かで、災を思いかえされるからである」(13)。主の赦しがあるからこそ、悔い改めることができるのです。「今からでも」という主の言葉は、何とありがたいことでしょう。わたしたちは自ら諦めてしまふことなく、待つていくくださる主のもとに今帰ろうではありませんか。